

保護者の皆様

林崎小学校長 中妻 克裕

平成30年度学校評価アンケート結果について

学校評価アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。94%の方から回答をいただきました。その結果について次ようにご報告いたします。なお、この結果は、本校教育の改善と充実を図るために活用させていただきます。また、保護者・児童アンケートの集計数値は、裏面に掲載しておりますので、ご覧ください。

1 アンケート集計結果より



(1) 児童アンケート

成果

- ・質問番号⑩で、8割以上が「学校へ行くのが楽しい。」と回答しています。学校や学級での日常的な指導をはじめ、いじめ防止に向けた取り組み等の成果だと考えます。今後も楽しい学校となるよう取り組んで参ります。
- ・①～⑧の学習に関する質問には肯定的な回答が多く、学校で学習したことが家庭での励ましや協力によって家庭学習を積み重ねることにより、定着できていると考えます。
- ・⑩⑪⑫の質問では、先生と子どもたち、子どもたち同士がしっかりとコミュニケーションをとり、よい関係を築いていることが分かります。
- ・⑬～⑮、⑲で高い割合で仲間意識が育っていることがうかがえます。学校や学級での取り組みや、「きらきら班」による異学年交流の温かなつながりの成果だと考えます。今後とも継続し、学年の枠を超えた活動も充実していきたいと思ひます。
- ・⑯「毎日朝ごはんを食べている。」⑳「避難訓練などは、真剣に取り組んでいる。」の割合は高くなっており、食育に関する意識の向上や防災意識を高める「林崎小防災の日」の取り組み等が定着してきた成果だと考えます。今後も常に課題意識をもち、見直しと改善に努めます。

課題と対策

- ・㉑で、少数でも「楽しくない」と感じている回答があります。勉強や運動、生活の中でがんばった時は認め、子どもたちが達成感や成就感を味わえるようにすることにより、学校生活がより楽しいと感じるようにしたいと思ひます。
- ・㉒で、否定的な考えの割合が高くなっています。子どもたちが自信をもって自分の良さを発揮できるように、学校や学級の中で友達同士で良さをを見つけ合ったり、授業の中でどんどん思いや願いが実現できるようにすることで、自尊感情を高めていきたいと思ひます。
- ・㉓「家で携帯電話やゲーム機を使って、よくメールやゲームをしている。」子どもたちが、8割近くに及びます。機器の使用やSNSの仕方について、正しく使用できるようにすることは大切です。使用の仕方について、ご家庭で話し合ってくださいと共、懇談会やPTA研修等で保護者の皆様にも啓発していきたいと思ひます。家庭と学校が協力して取り組んでいけるよう、よろしくお祈りします。

(2) 保護者アンケート

成果

- ・㉔で、「学校は、保護者や地域の人々が行きやすい学校となっている。」と肯定的な意見が多く、家庭、学校、地域が協力して子どもたちを育てることの第一歩目ができていると考えます。
- ・㉕「子どもは、楽しんで学校に行っている。」と多くの方が回答いただきました。安心して通える安全な林崎小学校となるようこれからも努めてまいります。

- ・①③⑤で、約85%の方に学習に関する取り組みについて肯定的な評価をいただきました。本校の学力取り組み状況は文書でお知らせするなど、随時情報提供に努めました。本年度は、筆箱の中身や家庭学習の充実をはじめとする重点目標を掲げ、学校全体で取り組んできました。全国学力・学習状況調査や徳島県学力ステップアップテストでは、国や県の平均を上回る成果が見られます。学力向上に関しては、引き続き低学年からしっかりと取り組むたいと考えます。家庭学習や家庭読書でのご協力をお願いいたします。
- ・⑭「子どもは、人のことを大切にして、友だちと仲良くしている。」と多くの方から回答をいただきました。生活指導・安全指導・健全育成に向けて、ご家庭と共に全校体制で指導を続けてきた成果だと考えています。

課題と対策

- ・㉖で、学校からの情報発信については、十分ではないとの回答が2割程度見られたことが課題です。学校の教育活動の様子は、林崎小だより、学年だより等でお知らせする他、ホームページ等でも情報の提供に努めています。
- ・㉗「子どもは、自分のいいところを理解している。」には約3割弱の方が「いいえ」と回答されました。今後も子どもたちが自信をもって自分の良さを発揮できるように、また、安全に安心して生活できるよう環境整備に努めるとともに、機会あるごとに子どもたちの良さを認め、自尊感情が高まるよう取り組みを続けていきます。
- ・㉘「子どもが携帯やゲームを長時間しないようにルールを決めている。」では、保護者の約3割の方が決めていないと回答されています。学級懇談や個人懇談、授業参観日やPTA研修等の機会を生かし、携帯電話やゲーム機等の正しい使用の仕方や危険性について理解を深めていただけるようにしたいと思ひます。
- ・㉙「子どもは、先生、友達、近所の人に進んであいさつをしている。」では、8割近くの方が肯定的な意見です。ただ2割の方は十分でないと感じているようです。家庭・学校・地域のいずれの場合でもあいさつができるようにするため、今後ともご協力をお願いします。

2 学校関係者評価委員会での意見

- ・学校評価アンケートに90%以上も協力してくださるのは、素晴らしい。参観日でもたくさん保護者、地域のみなさんが温かい雰囲気で見守ってくださっている。家庭、学校、地域のつながりをこれからも大切に、子どもたちの教育を進めてほしい。
- ・何かあった時に乗り越えられるたくましい子どもを育ててほしい。そのためには、いろいろな力をつけること。そして時には、がまんすることも大切。また、コミュニケーションをとることも大切。一人で乗り越えられないことも他者とコミュニケーションをとることで乗り越えられることもある。
- ・コミュニケーションとしてのあいさつは、人格形成にも大きく影響する。また、大人になると人間関係が仕事上でも大切となる。家庭でも地域でも学校でもいろいろな場面であいさつをする習慣をつけることが必要であり、それが力となっていく。折にふれて家庭でのあいさつを呼びかけることも必要だと思う。

3 おわりに

本年度も、教職員が協働して林崎小学校教育の充実に取り組んできました。保護者や地域の皆様の力強い支援体制の中で、温かいご理解とご協力をいただき、本校の子どもたちはすくすくと成長していることに、心より感謝いたします。来年度も、信頼される学校づくりをめざし、教職員一同、尽力してまいります。引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお祈りいたします。